

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	県立西宮統合医療センター(仮称)	階数	地上11F
建設地	西宮市津門大塚町1番、西宮市津門	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、防火地域・準防火地域	平均居住人員	552 人
地域区分		年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年9月 0.0	評価の実施日	2023年2月15日
敷地面積	26,000 m ²	作成者	宮本 将毅
建築面積	10,678 m ²	確認日	2023年2月15日
延床面積	56,562 m ²	確認者	内田 敏郎

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.7

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
① 参照値 100%
② 建築物の取組み 94%
③ 上記+②以外の 94%
④ 上記+ 94%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
Q1 室内環境: 4
Q3 室外環境(敷地内): 3
LR1 エネルギー: 3
LR2 資源・マテリアル: 4
LR3 敷地外環境: 3

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 4.0

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 4.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 4.1

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項		
<p>総合 県立西宮病院と西宮市立中央病院が担ってきた医療を引き続き提供するとともに、地域の医療機関との役割分担や連携を強化し、西宮市域及び阪神圏域における高度急性期・急性期医療を担う中核的な医療機関として必要な機能の充実を図る。 → 高機能エリアの強化に向け、救急・診療部の広さを確保</p>	<p>その他 浸水災害への対策として、敷地全体の土地利用計画を考慮し、掘削土を再利用することで、新病院1階床レベルを国道から約1.5m上げた計画とする。病院の電気室、発電機等は病院棟4階に計画する。</p>	
<p>Q1 室内環境 病室や講堂など用途に応じて、遮音壁を用いて、遮音を行っている。 また、用途に応じて、適切な空調設備を設け、室温制御を行っている。</p>	<p>Q2 サービス性能 病室について、適切な広さ、天井高さを確保する。 バリアフリーについて、見通しのよい「さくら通り」、 「外来ストリート」には、医事課、外来・診療部門や病棟へのルートが明確に分かるサインを設置し、病院を初めて</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) 「西宮市開発事業等におけるまちづくりに関する条例」の届出や「都市計画法34条の2」による協議、 「兵庫県環境の保全と創造に関する条例」を順守し、計画地を最大限有効活用した計画とする。</p>
<p>LR1 エネルギー 中庭・光庭の適切配置で、自然光・風を積極的に活かした施設とする。 屋上緑化、バルコニー、外壁の断熱、病室窓への複層ガラスにより、 熱負荷の低減を図る。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル 地下のない計画とし、掘削土量を敷き均し、場外搬出土を再利用する。掘削、処分費や仮設、山留、水替え等の仮設工事コストを削減する。 舗装材(アスファルト・インターロッキング等)は環境へ配慮し、リサイクル材を極力利用する。</p>	<p>LR3 敷地外環境 建物内は汚水・雑排水の合流とし、建物外は汚水雑排水・雨水の分流とする 特殊排水については適切な処理を行った後、公共下水道に放流する。 一般排水と特殊排水は分けて下水本管に接続する。特殊排</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される